

# 平井みどり

## 市政活動報告

平成30年9月12日 一般質問「決算議会」

### 市立病院は独立採算が原則



「仙台市立病院は、仙台市民にとってなくてはならない病院」として、市民のために昼夜を問わずご尽力いただいていることに対して敬意を表し、その上で質問いたしました。

冬号 2018.12.01

〔発行・編集〕みどりの会  
仙台市青葉区国分町3-7-1  
E-mail: 3227midori@gmail.com

Let's together

ブログ発信中

平井みどり

検索



街はみんなのもの

みんなで変えよう！まずやってみよう！



**平井みどり** 平成29年度の病院事業収益は、およそ14億1千万円余の赤字で、未処理欠損金は71億9千万円余となり、このまま赤字経営を続けていくことはいかがなものでしょうか。一般会計を通して、市立病院の経営にかかわっているともいえる立場から、市長の所見を伺います。

却費が高い水準で推移していることが要因です。経営改善は喫緊の重要課題であり、経営基盤の充実強化に努めております。

**平井みどり** 市民の税金から20億円近くの繰り出しを行っており、繰入金に頼らない病院経営というのを市長はどのように考えられているか。

**市長** 救急医療を担う三次医療としての役割も担っており、経営のみでは収益が上がらない。一般会計からある程度の繰り入れは、仕方のないことだと思っています。

**平井みどり** 平成29年度の救急要請件数は約8900件。応需率は71.6%。つまり、約2500件は受け入れ要請を断っている状況だ。一方、救命救急センターのベッド利用率をみると八割弱である。また、新病院への移転により、年間1460床の増となったが、救急の受け入れ数は、増床後の三年間は、なぜか増床前の平成25年度を下回っており、増床した役割を果たしてはいないのでは。

**病院事業管理者** ICUやHCUが満床の場合には、他の病床が空床でも受け入れが困難となる場合がある。また、予定入院の患者ベッドを前日までに用意する必要があり、一定程度の空床が生じることにはやむを得ない。

軽症患者の受け入れが減少した一方、重篤患者の受け入れは増加しており、救急搬送後に入院となった患者は、25年度と29年度を比べると約400人増加しています。

**平井みどり** 軽症と判断する場合

の基準は何か、及び市立病院として軽症は受け入れないことについての見解を求めます。

**病院事業管理者** 他の医療機関では対応が困難な患者に医療を提供することが求められており、主に意識障害や急性呼吸不全、重度の外傷など、入院が必要となるような患者を中心に受け入れている。

**平井みどり** 新築移転の際に、救急医療を初めとする政策的医療を拡充するというところで多額の投資を行ったにもかかわらず、移転後の救急患者の受け入れ数、旧病院時代を下回っているというのはいかない。

**病院事業管理者** 政策的医療には、救急医療以外にも、精神科救急、身体合併症、災害医療、周産期医療などが含まれます。また、国が進める地域における役割分担の中で、結果的に救急の入院患者が5年前に比べて約四百名増えた。

**平井みどり** 安心・安全な医療の提供が絶対ですが、院内のインシデント数2454件(平成29年度)のうち重大な事案と思われるものは何件ですか。また、インシデント報告に対し、的確な検証、分析を行う体制がどのように機能していますか。

**病院事業管理者** 平成29年度、高齢者の入院中の転倒による骨折など重大な事案は20件。まずは、病院がみずから再発防止策を検討することが肝要であり、医療安全管理委員会など複数の委員会により重層的に分析、検討しています。



# ほっとけない 「ごみ屋敷」

**平井みどり** 平成25年度総務省の調査によれば、全国の空き家総数は820万戸。住宅総数の13%を占めます。本市において把握している空き家の軒数は、住宅総数に占める割合は。

**生活安全安心部参事兼市民生活課長** 平成25年度に国が実施した住宅土地統計調査では、売却用や賃貸用などの空き家も含め5万6000戸。総戸数に占める割合は約10%です。

**平井みどり** 空き家を除去するための補助金(平成29年度、819万円)は、何軒分ですか。また、代執行を行ったもの及び所有者が不明の空き家はありましたか。

**生活安全安心部参事兼市民生活課長** 昨年度の危険空家等除却工事補助事業の実績は15軒。空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づく代執行は実施していません。

**平井みどり** 今後そのような事例が万が一出てきた場合、どのように対処するか、具体的に伺います。

**生活安全安心部参事兼市民生活課長** 空き家の状況等を踏まえ、危険が切迫している物件については、空き家条例に基づき応急措置を行います。それでも危険が除去されない場合は、特別措置法に基づき市が



解体を行います。

**平井みどり** 周囲への影響ということであれば、いわゆるごみ屋敷も大きな問題です。市民からの声は、まずは区役所へ届けられるが、区役所内でもどの課が扱うのか、決まっていないようです。どの局が窓口になるのか考えおく必要があると思いますが。

**生活安全安心部参事兼市民生活課長** 近隣の方々から区役所に相談が寄せられていることは承知しています。案件ごとに関係課が取り組むことが基本。引き続きこうした対応を進めます。

**平井みどり** いわゆるごみ屋敷と目されるものが、個人にとっては財産であるという考え方は、私にとっては非常にジレンマを感じます。ごみ屋敷と空き家では、住人がいることに大きな違いがあるが、景観、衛生、防犯の観点から早期の対策が必要になることは間違いないと思います。このごみ屋敷の問題、今後取り組んでいくことが必要です。

# 「新公立病院改革 ガイドライン」で黒字化を

**平井みどり** 総務省は新公立病院改革ガイドライン(平成27年3月)を公表し、新公立病院改革プランを策定することが求められました。

どのようなことに重点を置いて策定され、その進捗状況は。

**市立病院経営企画課長** 7対1入院基本料の確保や手術実施体制の充実、強化などの高度急性期医療機関としての機能強化。加算の取得等の収益増や診療材料や薬品の価格交渉による費用縮減等を実施しており、回復期や慢性期病床を持つ他の医療機関と一層の連携も図っている。

現在の地方公営企業法全部適用による運営を継続しつつ、他の経営手法についての検証、研究を行いながら、今後、経営形態のあり方を見定めていくことになっている。



**平井みどり** このガイドラインは、公立病院には黒字化を目指した病院改革を強く進めるよう示唆していると感じるが、どのように考えているのか。具体的に黒字になる数値目標と、期間について、どのように計画をしたのか。

**市立病院経営企画課長** 減価償却費が高い水準で推移するため、早期の黒字化は難しい状況ですが、平成43年度には、減価償却費が減少する見込みで、経常収益費用が170億円程度に均衡し、黒字化が見込めるものと考えています。

**平井みどり** 一般病床467全てを高度急性期としているが、平成33年あたりはそのうち131床を急性期に変更するとしているがなぜか。

**市立病患主次長兼経営部長** 明確な区分は示されておりませんが、高度急性期、重症患者を積極的に受け入れていくという方針に変わりはございません。

**平井みどり** 新仙台市立病院基本計画(平成21年3月)では、平成31年度以降は経営黒字化する計画だが、今回策定した改革プラン2017では、平成43年度まで黒字化はできないとしている。10年

も経たない間にこれだけ数値が違ってくるのは、当初の見通しが甘かったのではないか。改革プラン2017で修正した理由は。

**市立病院経営企画課長** 医療を取り巻く環境は大きく変化し、特に地域における機能分化が進み、高度急性期医療機関としての役割を明確にしたことにより、収益は診療単価の上昇などにより計画を上回る見込みとなった一方、費用面では、産休や育休の取得者が予想を大きく上回り、代替職員分の人件費が増加したこと、医療の高度化により薬品費や材料費が増加したことにより、両計画の黒字化時期、収支目標などに差異が生じた。

**平井みどり** ガイドラインでも明記しているとおり、地方公営企





# 客引き行為の根絶を目指して



**【平井みどり】**計画の方向性として、客引き行為の規制条例全面施行後2年経過の時点で、悪質な客引きを中心に、客引き数を商店街のアーケード内はゼロに、国分町地区は半減を目指すとのことですが、なぜ商店街のアーケードはゼロで、国分町地区の目標値は半減なのか。

**【市民局生活安全安心部参事兼市民生活課長】**当然のことながら、規制区域内における客引きはゼロとなるように取り組んでいきたいが、地域との協議の中で目指すあり方の案として出したものです。

**【平井みどり】**このような数値を出すのであれば、国分町地区こそゼロと掲げるべきでないか。

**【市民局生活安全安心部参事兼市民生活課長】**規制区域内の客引きのほとんどが国分町地区に集まっている現状があり、2年後の段階の目標として半減でどうかと地域に示したものです。

**【平井みどり】**この条例をつくり、それで終わりということではもちろんないと思います。しかし現在、巡回の強化などは行ってはいないようだが。

**【市民局生活安全安心部参事兼市民生活課長】**啓発活動としてパトロールや街頭での活動を行っていますが、いわゆる取り締まり等のための巡回は、市では行っておりません。

**【平井みどり】**条例制定後は、市も県警のOBと巡回するとのことですが、どのくらいの人数を想定しているのか。

**【市民局生活安全安心部参事兼市民生活課長】**市の職員、警察官OBを想定していますが、人数、体制については、他都市の体制を情報収集し、分析しながら、今後検討を進めていきたい。

**【平井みどり】**東京や大阪で規制が厳しくなると、客引きがこちらに流れてくるという分析もありますが、それについてはどのような認識か。

**【市民局生活安全安心部参事兼市民生活課長】**少なくとも風俗の客引きについては、全国を転々として渡り歩いているものがあると聞いており、仙台でもそういったものがあると聞いています。

**【平井みどり】**条例の制定は一定の成果がありますが、そ



の後どのようにしていくのかを注意深く見ていくことが必要だと思います。その点については。

**【市民局生活安全安心部参事兼市民生活課長】**条例制定はスタートで、それに基づく適切な取り締まり及び地域とともに取り組みを継続的に行うことが必要と考えています。条例制定後に地域、警察と十分に協力しながら条例を活用し、客引きをなくしていくことに取り組んでいきたいと考えています。

# 図書館運営のベスト体制は？



**【平井みどり】**図書館の運営方法が、直営と指定管理と二通りあるがメリット、デメリットは。

**【市民図書館長】**指定管理のメリットは、民間のノウハウを活用し市民サービスの向上と施設運営の効率化を図ることですが、デメリットは一定の期間を設定し管理を委託するので、サービスの継続性や安定性の確保という観点から、公共図書館としては、指定管理よりも直営にメリットがあると考えています。

**【平井みどり】**7図書館のうち3館が指定管理。今後、指定管理を増やすのか、現状維持なのか、それとも減らしていくのか。

**【市民図書館長】**これから検証を重ね、他都市の動向も参考にしながら、検討を進め、当面は現状を維持したい。

**【平井みどり】**図書館は全国的に指定管理等の導入率は、ほかの公共サービスに比べて低い。理由は何と考えるか。

**【市民図書館長】**継続性、安定性がまず第一。資料費や公共的にそろえるべき貴重な資料を、責任を持ってそろえることができるかという観点から、自治体による運営がまず基本になる。

**【平井みどり】**さらに愛される図書館となるために、図書館の地域社会の貢献という目的を達するために、指定管理も含めてどのような運営を考えられているか。

**【市民図書館長】**子供たちにとっては読書文化の醸成が非常に大事なことだと思っており、加えて、夜の図書館を使ったイベントなどで、新しい利用者層の獲得と、広報、啓発に努め、一層利用者層の拡大に努めます。



業は独立採算が原則です。一般会計が負担すべき経費の範囲はどのあたりまでなのか、また繰り出す基準を明確にすることが必要であると考えます。

平成29年度の一般会計からの繰出金は、決算額約28億円に上りま

す。不採算部分に繰り入れが必要

なことはわかりませんが、市立病院

として、まずは自分の足で立って

いたただかなくてはならないと思

います。市立病院が市民のために

あり続けられるよう処方箋をつ

くり、必要な改革は早目に取りか

かっていたいただきたいと思

います。

**病院事業管理者** 事業による収入でその費用を賄う独立採算を基本とする地方公営企業であり、企業としての経済性をいかにしながら、公共の福祉の増進に努めていくことが重要であると認識をいたしており、一般会計に過度に頼ることなく、経営基盤をさらに強固なものとするよう取り組んでいかなければならないと考えています。





# 進めるために エアコンの設置を



**平井みどり** 平成29年度までに小学校の音楽室のエアコンの設置率は約8割まで完了。残りは、毎年10校程度ずつ設置し、平成32年度までに全学校に設置が完了する計画である。随分ゆっくりのペースのように私は感じますが。

と同じような暑さであったなら、子供たちの健康は持たないと思います。エアコン設置とトイレ改修のどちらかを選択しなければならぬとすれば、命の危険があるかもしれないエアコン設置を選択するべきだ。計画の順番の入れ替えはあり得るのか。

**学校施設課長** 学校施設の長寿命化やトイレの洋式化も環境改善の重要な課題と認識しており、今後も予算の確保をしっかりと行い計画的に進めていきたい。

し一番の問題は、やはりコストです。エアコンのリース契約というやり方もあると思いますが、検討はしていますか。

**学校施設課長** 直接工事を発注して整備する方式のほかに、リース方式や民間の力を活用するPFI事業による方式もあります。それぞれのメリット、デメリットを十分検証した上でしっかりとした計画をつくりたい。

**平井みどり** 基礎的な調査項目について及びエアコン設置までのスケジュールの策定の進捗はどこまで進んでいるのか。

**学校施設課長** 財源確保のほか、ガス方式あるいは電気方式といった機種の選定や、リース方式、直接設置などの整備方法、事業者への発注方法などの課題について検討を進めているところです。

私の質疑をぜひご覧ください。  
<http://www.sendai-city.stream.jfit.co.jp/>  
仙台市議会の様子をインターネットで中継しています。

## 10月21日 榴岡公園 第30回 みやぎの・まつり

区民や市民団体の皆さまによる手作りのお祭り。広く交流を深められるよう、各世代の方々に楽しんでいただける企画です。

おみこし巡行に参加致しました。わっしょいと言う掛け声とともに、ずしりと重いおみこしを担ぎました。子どもたちの大好きな、ネコバスやポッポ列車もきました。



## 10月25日 宮城野区文化センター・パトナホール 平成30年度 宮城野区防災セミナー ～土砂災害から命を守るために～

地域防災力向上事業  
東北大学災害科学国際研究所  
准教授 森口周二氏

日本は災害大国であるが故に、災害の事前対策や復旧の力は世界に誇るべきレベルにある。しかし、毎年災害による死者は発生している。大きな組織としての戦略に個人技が加われば防災・減災が大きく発展します。個人が主役の防災・減災の時代です。

土砂災害が起こるメカニズムを詳しく教えて頂きました。自分の住んでいる地域の土砂災害リスクを知ること大切。地域のちょっとした地形の変化などに気を付けて命を守りましょう。



**平井みどり**  
プロフィール  
仙台市生まれ  
武蔵野音楽大学短期大学ピアノ専攻卒業  
東北大学法学部科目等履修生  
宮城教育大学附属中学校PTA会長  
仙台市男女共同参画社会審議委員  
宮城県男女共同参画社会審議委員

【現在】慶應義塾大学法学部政治学科(通信制)在学  
仙台市国際音楽コンクールボランティア/市民教育委員  
子育て環境調査特別委員/仙台市学校給食運営審議委員

皆さまのお声を。  
お聞かせください。

市政へのご意見・ご要望、地域や暮らしのご相談など、お気軽におよせください。お待ちしております。  
留守の場合は、留守番電話にメッセージを入れてください。折り返しご連絡させていただきます。

TEL&FAX  
022-357-0477